

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 9 日 (2021.12.9)

【公表番号】特表 2019-528850 (P2019-528850A)

【公表日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-042

【出願番号】特願 2019-512294 (P2019-512294)

【国際特許分類】

A 6 1 L	27/02	(2006.01)
A 6 1 F	2/28	(2006.01)
A 6 1 F	2/20	(2006.01)
A 6 1 F	2/18	(2006.01)
A 6 1 F	2/04	(2013.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 L	27/12	(2006.01)
A 6 1 L	27/14	(2006.01)
A 6 1 L	27/50	(2006.01)
A 6 1 L	27/44	(2006.01)
A 6 1 L	27/46	(2006.01)
A 6 1 L	27/40	(2006.01)
A 6 1 L	27/18	(2006.01)
A 6 1 L	27/58	(2006.01)
A 6 1 K	6/831	(2020.01)
A 6 1 K	6/838	(2020.01)
A 6 1 K	6/891	(2020.01)
A 6 1 K	6/884	(2020.01)

【F I】

A 6 1 L	27/02
A 6 1 F	2/28
A 6 1 F	2/20
A 6 1 F	2/18
A 6 1 F	2/04
A 6 1 P	25/00
A 6 1 P	1/02
A 6 1 P	19/08
A 6 1 L	27/12
A 6 1 L	27/14
A 6 1 L	27/50
A 6 1 L	27/44
A 6 1 L	27/46
A 6 1 L	27/40
A 6 1 L	27/18
A 6 1 L	27/58
A 6 1 K	6/027
A 6 1 K	6/033
A 6 1 K	6/087
A 6 1 K	6/08

【誤訳訂正書】

【提出日】令和3年10月26日(2021.10.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ミクロ構造の粒子を有する複合粉末を用いるインプラントの製造方法であって、
初めに前記複合粉末が、大きい粒子を小さい粒子に結合させることによって得られ、
次に、前記複合粉末を含む組成物の選択的レーザー焼結によって前記インプラントが形成され、

前記大きい粒子は、20 μm ~ 10 mmの範囲の平均粒子直径を有し、

前記大きい粒子は、乳酸、ヒドロキシ酪酸及び/又はグリコール酸の繰り返し単位を含むポリマー、ポリエチレン並びにポリプロピレンからなる群から選択される少なくとも1種のポリマーを含み、

前記小さい粒子は、前記大きい粒子の表面上に配置されており、及び/又は前記大きい粒子内に非均一に広がっており、

前記小さい粒子は、カルシウム塩を含み、

前記小さい粒子は、0.01 μm ~ 20 μm 未満の範囲の平均粒径を有し、

前記複合粉末の前記粒子は、10 μm ~ 200 μm 未満の範囲の平均粒径 d_{50} を有し、

前記複合粉末の微細画分は、前記複合粉末の総量に対して50容量%未満であり、前記微細画分は、20 μm 未満の粒径を有する粒子の画分である、インプラントの製造方法。

【請求項2】

前記複合粉末の前記粒子が、350 μm 未満の粒径 d_{90} を有することを特徴とする、請求項1に記載のインプラントの製造方法。

【請求項3】

前記複合粉末の前記粒子が、20 μm ~ 150 μm 未満の範囲内の平均粒径 d_{50} を有することを特徴とする、請求項1又は2に記載のインプラントの製造方法。

【請求項4】

前記複合粉末の前記粒子が、100%未満の d_{20}/d_{50} 比を有し、及び/又は前記カルシウム塩が、5未満のアスペクト比を有し、及び/又は前記カルシウム塩が、球形の炭酸カルシウムを含み、及び/又は前記カルシウム塩が、リン酸カルシウムを含むことを特徴とする、請求項1~3のいずれか一項に記載のインプラントの製造方法。

【請求項5】

前記大きい粒子が、少なくとも1種の熱可塑性ポリマーを含むことを特徴とする、請求項1~4のいずれか一項に記載のインプラントの製造方法。

【請求項6】

前記大きい粒子が、少なくとも1種の吸収性ポリマーを含むことを特徴とする、請求項1~5のいずれか一項に記載のインプラントの製造方法。

【請求項7】

前記吸収性ポリマーが、クロロホルム中で25、0.1%ポリマー濃度にて測定して、0.3 d1/g ~ 8.0 d1/gの範囲内のインヘレント粘度を有することを特徴とする、請求項6に記載のインプラントの製造方法。

【請求項8】

前記大きい粒子が、ポリ-D、ポリ-L及び/又はポリ-D, L-乳酸を含むことを特徴とする、請求項1~7のいずれか一項に記載のインプラントの製造方法。

【請求項 9】

前記大きい粒子が、 $500\text{ g/mol} \sim 1,000,000\text{ g/mol}$ の範囲の数平均分子量を有する少なくとも1種の吸収性ポリエステルを含むことを特徴とする、請求項1～8のいずれか一項に記載のインプラントの製造方法。

【請求項 10】

カルシウム塩粒子の重量パーセントが、前記複合粉末の総重量に対して、少なくとも0.1重量%であることを特徴とする、請求項1～9のいずれか一項に記載のインプラントの製造方法。

【請求項 11】

前記複合粉末が、前記複合粉末の総重量に対して、40.0重量%～80.0重量%のPLLA、及び20.0重量%～60.0重量%の炭酸カルシウム粒子を含むことを特徴とする、請求項1～10のいずれか一項に記載のインプラントの製造方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0269

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0269】

【表 3 - 3】

表 3 (続き)

	実施例 8	実施例 9	実施例 10
マイクロ構造の粒子を有する複合粉末の調製のための組成物			
m(充填剤) [重量%]	40	40	40
ポリラクチド	粒状体 3	粒状体 3	粒状体 3
m(ポリラクチド) [重量%]	60	60	60
マイクロ構造の粒子を有する複合粉末の調製			
ふるい分け	< 250 μm < 20 μm 空気ジェット ふるい分け	< 250 μm < 20 μm 空気ジェット ふるい分け	< 250 μm < 20 μm 空気ジェット ふるい分け
充填剤含量 [重量%]*	24.9	24.2	26.6
T _p [° C]	341° C	303° C	303° C
d ₂₀ [μm]	85	74	75
d ₅₀ [μm]	131	128	120
d ₉₀ [μm]	226	257	230
画分<20 μm [容量%]	3.0	4.5	1.6
水分[重量%]	0.6	0.6	0.6
インヘレント粘度 [dl/g]	1.8	1.8	1.9